# 湘南フォーラム

## 「選ばれるまち、住み続けるまち」を目指し前進を

山原　栄一　議員

### 落合市長4期目の所信表明から

**問**　持続可能なまちづくりに向け、新しい種をまき続けるとしているが、今後の経営資源の見通しと、どのように施策を進化させていくのか伺う。

**市長**　人口減少社会においては、政策の選択と経営資源の集中によって、効率的・効果的な施策を展開していくことが必要となる。この考えのもと、公約に掲げた5つの柱を次期平塚市総合計画に反映させ、さまざまな施策と一体的に展開することで効果を高め、進化させるとともに市内外へ本市の魅力発信を続ける。

### 5つの大きな柱「子育て支援」

**問**　小児医療費の18歳までの所得制限撤廃の拡大による通年の増加額を伺う。

**市長**　約1億2110万円の増額を見込んでいる。

**問**　産後パパ育休の拡大に対する取り組みを伺う。

**市長**　育児休業が取得しやすい環境を整えるために国が創設した制度で、取得させた中小企業は両立支援等助成金を受ける。制度活用の周知や本市独自の取り組みを子ども・子育て推進会議で検討していく。

### 「福祉・暮らし」

**問**　複合的な課題への相談体制を伺う。

**市長**　ヤングケアラーや社会的孤立など、市民が抱える課題が複合化・複雑化する傾向を背景に社会福祉法に基づく重層的支援体制整備事業が創設され、今年度移行準備として一部事業を先行実施する予定である。

**問**　可燃ごみ戸別収集の対象地区拡大の考え方と見通しを伺う。

**市長**　対象地区の選定は、車両や作業員、ごみ量などの総合的な視点で決定している。今後は、令和9年度までに市内全域で実施できるよう取り組んでいく。

### 「安心・安全」

**問**　防犯カメラ設置助成の規模と見通しを伺う。

**市長**　自治会などに対する助成は、1台当たりの補助上限額を引き上げ、補助台数は10台程度と見込んでいる。今後も、自治会などの防犯カメラ設置への助成を継続していく。

### 「産業・環境」

**問**　ゼロカーボンシティ実現に向けた具体的な取り組みを伺う。

**市長**　子育て支援施設や福祉施設の脱炭素化支援、ZEH導入支援に加え、公共施設への太陽光発電設備導入調査を行う。

### 「まちづくり」

**問**　駅周辺地区の将来構想の考え方と取り組みを伺う。

**市長**　現状や課題の把握とともに、生活様式の変化やデジタル化などの技術、環境負荷軽減などへの対応や国の動向などを踏まえ、駅周辺に人が集まり、居心地の良い居場所となることを目指し、おおむね20年後の将来像をまとめていく。併せてその将来像実現のための支援策を「平塚駅周辺地区アクションプラン」として将来構想とともに令和6年度までにまとめていく。

**問**　海辺の総合公園について、市長の思いを伺う。

**市長**　しっかりと地域に説明し、着々とこの計画を進めさせてもらいたい。

### 市制施行100周年を展望する

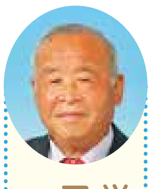
**問**　次期平塚市総合計画策定に向けた考え方を伺う。

**市長**　人口減少そのものを緩和させる施策と、人口が減少していく社会に適応していく施策を組み合わせていく必要があると考える。

### 小田急電鉄総合車両所移転計画

**問**　伊勢原市と小田急電鉄株式会社が進めるまちづくりの本市の考え方を伺う。

**企画政策部長**　本市に隣接した地区での事業であり、さまざまな影響も見込まれるため、関係部局で情報を共有している。



## 学校給食費の無償化で子育て支援の更なる充実を

小泉　春雄　議員

**問**　令和6年9月の中学校給食開始に合わせた、給食費無償化実現の考えを伺う。

**教育総務部長**　給食費の無償化は、本市の子育て支援の大きな枠の中で必要性や優先度などを勘案し、慎重に検討すべき課題と認識している。

**問**　小・中学校の給食費無償化に要する費用を伺う。

**教育総務部長**　小学校児童分の給食材料費で年間5億8千万円程度、中学校給食については未実施のため算出は困難だが、最低でも小学校の半分程度はかかると考える。

**問**　完全無償化は困難でも2分の1でもできないか。

**市長**　今の段階では財源を含め難しいことを理解してもらいたい。

### 教育課題

**問**　教育委員会には、教員を一時退職し、市の職員として勤務している割愛職員と言われる職員がいる。教育現場で先生が足りないと言われているのに、なぜ多数の割愛職員が必要なのか。

**学校教育部長**　教職員を支援するため、指導主事及び事務職員として割愛職員を配置している。学校に対するニーズは多様化、複雑化しており、学校を支援する体制をより充実させるため必要な人数と考える。

**問**　割愛職員の人数と給与の支払い元を伺う。

**教育総務部長**　人数は31人で、給与は本市が支給している。

**問**　茅ヶ崎市17人、伊勢原市14人、秦野市が15人である。本市の31人は多いと思うが見解を伺う。

**学校教育部長**　人数は多いと認識しているが、学校数や指導主事の割合からみると近隣市と変わりないと考える。

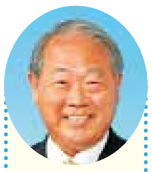
**問**　割愛職員を半分程度に削減し、市の職員で対応してはどうか。

**学校教育部長**　指導主事は経験がある者でなければならないと法で定められている。半分にする場合、これまでのような学校支援は難しい状況になる。

**問**　現在の教職員給与は時間外労働に応じた残業手当がない代わりに、基本給の4%が教職調整額として上乗せ支給されている。これを廃止して時間外手当を支給する場合の課題を伺う。

**学校教育部長**　学校管理職が時間外勤務として承認することが実務上できるか、また、県費負担教職員制度の中で、市町村教育委員会の時間外勤務に関する考え方の差異によって給与面での差が生じる可能性があることが挙げられる。

**▼このほかの質問**　市街化調整区域からの訴え　交通安全啓発ののぼり旗がない



## 子育て支援の充実や行政サービス、終活支援などを問う

出村　光　議員

### 子育て支援の充実

**問**　令和5年度中に開設予定の保育所の状況と4月の待機児童数及び保留児童数、課題を伺う。

**健康・こども部長**　10月に定員60人の認可保育所を宮の前に開設予定である。4月の待機児童数は6人、保留児童数は246人である。5月以降は例年1、2歳児を中心に増える傾向にある。育休明けの入所希望が多く、保育士が不足することなどが課題として挙げられる。

**問**　保育士の処遇改善やデジタル化の推進で業務量の軽減はされているのか、また、配置基準について県に要望するべきではないか。

**健康・こども部長**　就労支援交付金や清掃業務、給食の配膳など保育に関わる周辺業務を行う保育支援者の配置に対する支援や、ICTシステムの導入で事務軽減につながり、好意的な声を聞いている。保育士の配置基準の見直しについては引き続き県に要望していく。

### 行政サービス

**問**　市職員はあらゆる市民生活に関わりがあるが、すべての窓口で市民を迎える対応になっているか伺う。

**総務部長**　日頃から適切な接遇を心がけているが、意見や叱責を受けることもある。研修を継続して実施し、おもてなしの心を持って迎え、気持ちのよい窓口対応になるよう努めていく。

**問**　デジタル機器に不慣れな人へのセミナー開催実績と、令和5年度の実施予定を伺う。

**総務部長**　3年度と4年度は、高齢者を対象に全ての地区公民館で開催し好評だった。今年度も開催する予定である。

### 終活支援について

**問**　身寄りがない人が安心して終活相談ができる窓口の設置について伺う。

**福祉部長**　県内の先行事例を参考に検討したい。

**▼このほかの質問**　校舎の改修促進とトイレ洋式化

### 湘南フォーラム 所属議員

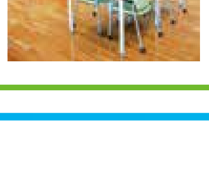
久保田 聡 議員

府川 正明 議員

### 会議録検索のご利用を

市議会ホームページの会議録検索では、日程や発言者などから簡単に検索することができます。

### 議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。

本市議会では、開かれた議会とするため、平塚市庁舎本館8階の議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境としています。